

MORNING DISPATCH

2026-10-17

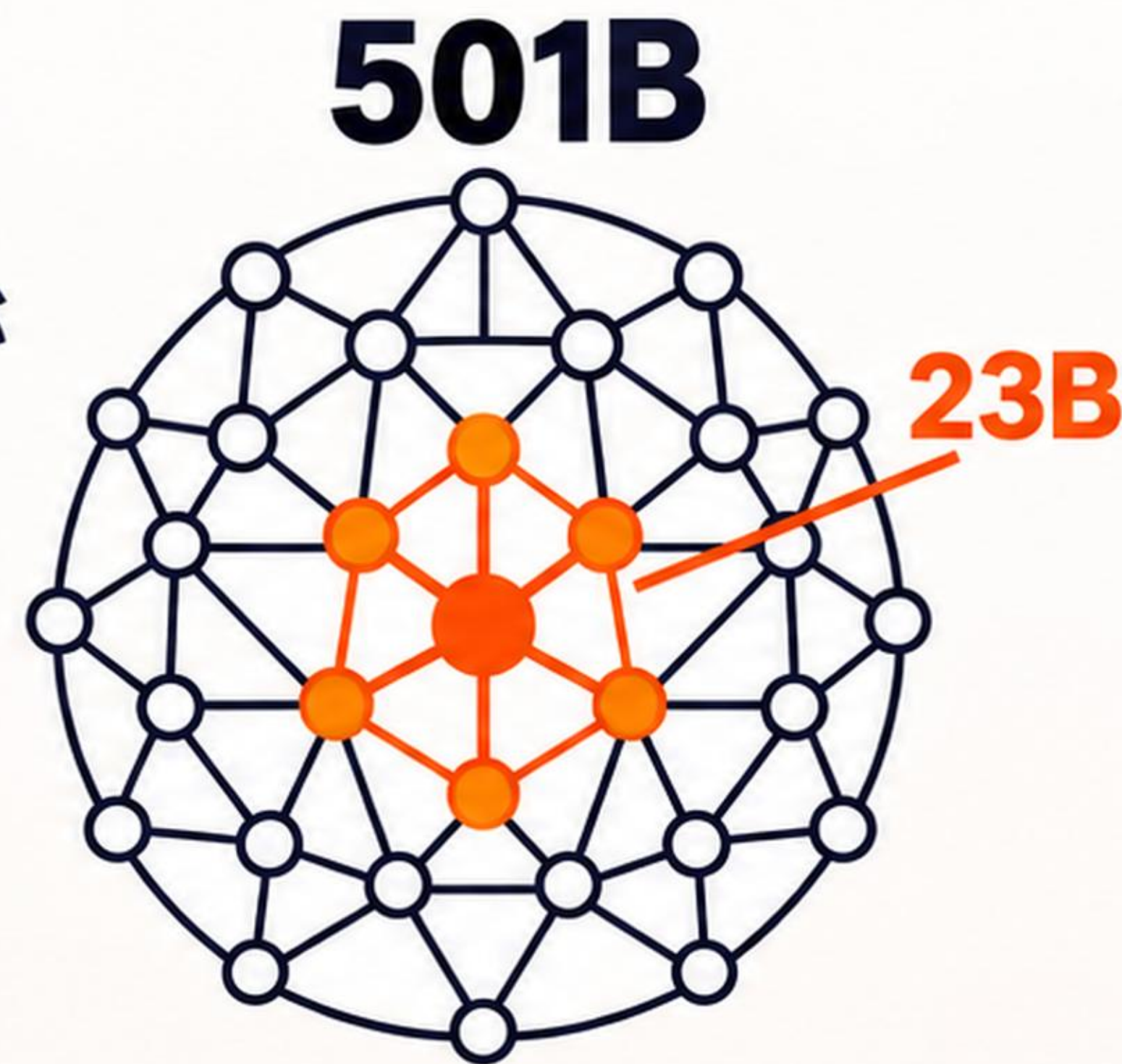
1. Beam、公開重みのAIを期間限定で無料提供
2. Glimpse、画像や動画を見直しながら推論
3. AI Search、日本語の自然文でキーワード検索

注目3件

Beam、公開重みのAIを 期間限定で無料提供

Vercelは、ステルス名Cat Jamで提供していたモデルの正体がReflection AIのBeamだと明らかにしました。

- コード生成とエージェント作業向けの推論モデル
- 100万トークンの文脈、ツール呼び出し、構造化出力に対応
- 総501Bパラメータのうち、1トークンで23Bを使用



既存のコーディングエージェントに入れて、品質や待ち時間を比較できます。

Glimpse、画像や動画を見直しながら推論

Elorianは、考える途中で視覚情報を見直すモデルGlimpseを研究プレビューとして公開しました。

- 推論の途中で視覚情報を再確認
- 画像変換・動画処理などのツールを利用
- APIとチャット画面で研究プレビューを提供



図表や動画の読み取りに使える候補が増えます。

AI Search、日本語の自然文で キーワード検索

Cloudflare AI Searchのキーワード検索が、trigram設定で日本語・中国語・韓国語の質問に対応しました。

- 日本語・中国語・韓国語の自然文を検索可能
- keyword_tokenizerをtrigramに設定
- porterはこれらの言語に不向き

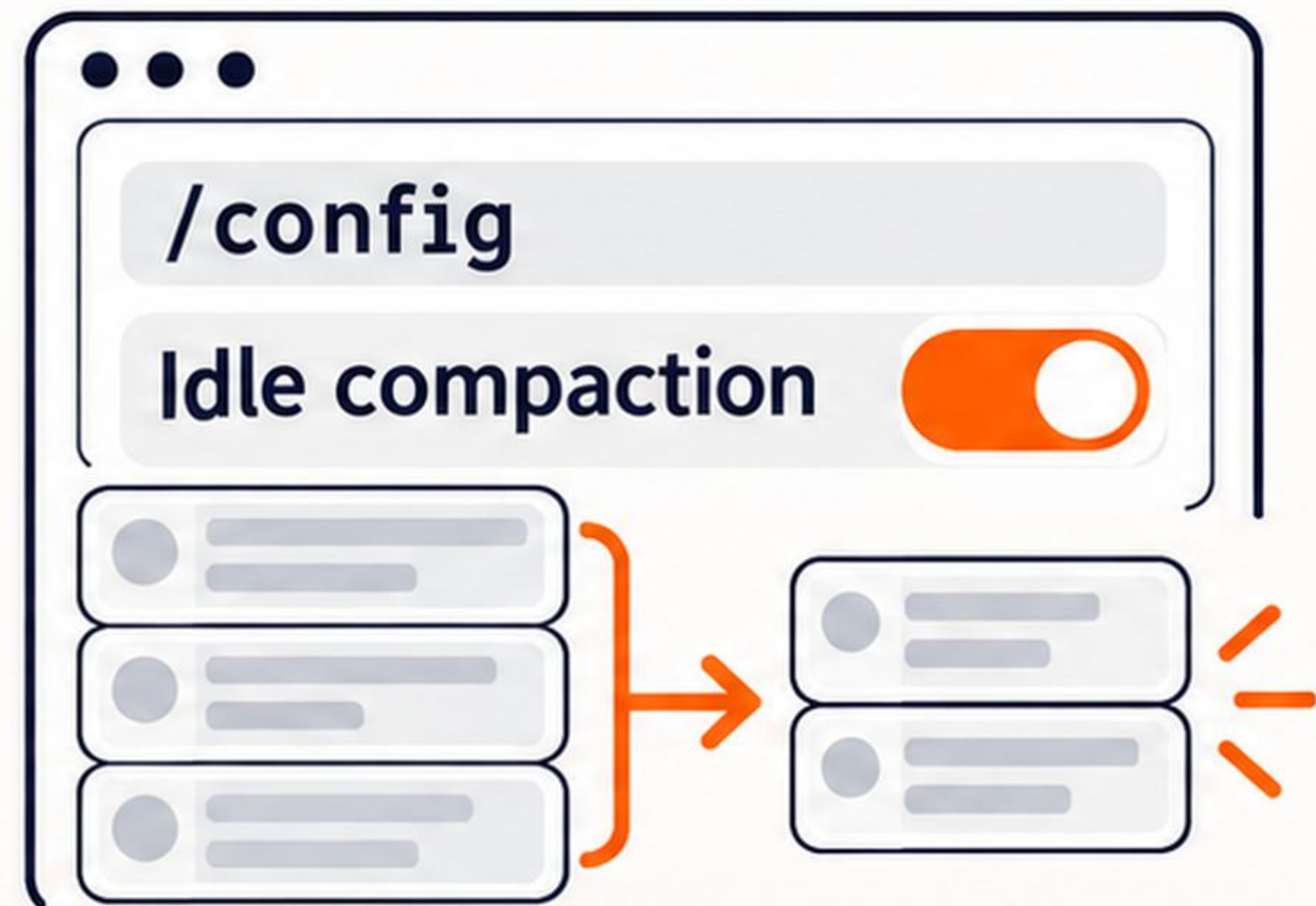


社内規程に日本語で質問する検索システムを作りやすくなります。

Claude Code、自動圧縮の切り替えを追加

Claude Code 2.1.302は、待機中の会話を自動圧縮するIdle compactionを、`/config`から切り替えられるようにしました。

- `/config`でIdle compactionをオン・オフ
- 単体版Claude Designは12月14日までに終了と告知
- forkサブエージェントをSDKやVS Codeでも既定有効に



会話の自動整理を自分の運用に合わせて調整できます。

Copilot、3モデルの提供を 11月16日に終了

GitHub Copilotは11月16日、Claude Opus 4.8、Claude Opus 5、GPT-5.6 Terraの提供を終了する予定です。

- 終了予定日は2026年11月16日
- 対象はOpus 4.8・Opus 5・GPT-5.6 Terra
- Opus系の代替はClaude Opus 5.5

Claude Opus 4.8
Claude Opus 5



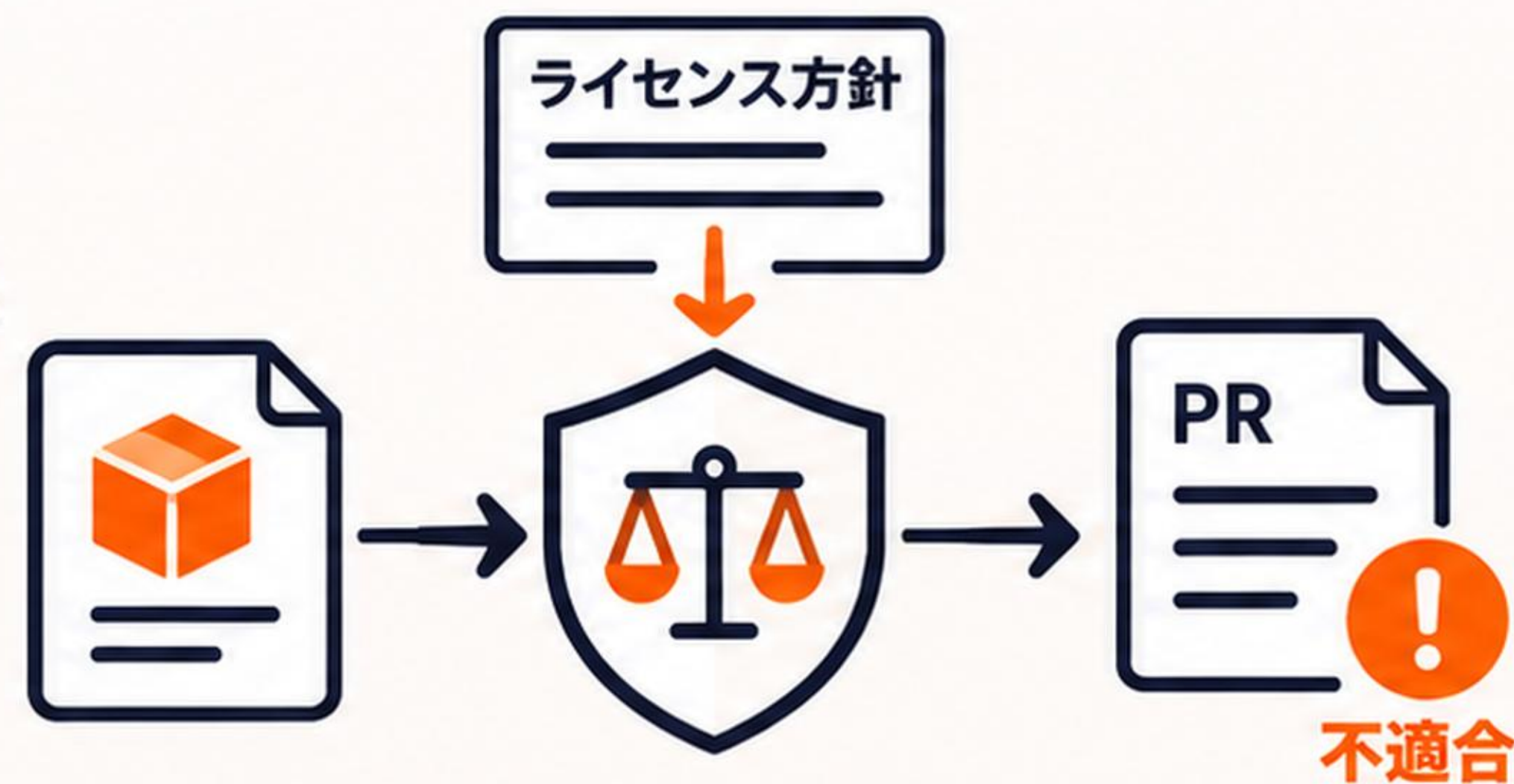
Claude Opus 5.5

モデル名を固定している設定や連携は、期限までに見直す必要があります。

GitHub、依存ライセンスを マージ前に検査

GitHub Enterprise Cloudで、企業のライセンス方針に依存パッケージが合うかを検査する機能が一般提供されました。

- Enterprise CloudのCode Security有効リポジトリが対象
- 企業共通のライセンス方針をルールで適用
- 依存を追加・変更するPRへ不適合を注記



AIが追加するライブラリも、企業の利用方針に沿って確認できます。

yomiyasu、推敲後の数値や否定を検査

日本語推敲スキルyomiyasu v2.0.0は、書き直した文章を返す前に、数値や否定など原文の意味が保たれているかを検査します。

- 推敲後に数値や否定の変化を確認
- 宛先や用途に合う言い回しへ調整
- Codexで名前を呼ぶ操作を改善



メールや報告書の推敲では、流暢になっても金額や条件が変わると困ります。

本日のトピック一覧

1. Beam、公開重みのAIを期間限定で無料提供
2. Glimpse、画像や動画を見直しながら推論
3. AI Search、日本語の自然文でキーワード検索
4. Claude Code、自動圧縮の切り替えを追加
5. Copilot、3モデルの提供を11月16日に終了
6. GitHub、依存ライセンスをマージ前に検査
7. yomiyasu、推敲後の数値や否定を検査